

(P10) AUV「ごんどう」を用いた中部沖縄トラフにおける海底地形調査

海洋調査課 大陸棚調査室 長澤 亮佑, 田中 喜年, 瀬尾 徳常  
松野 美幸, 齊藤 康仁

海上保安庁海洋情報部では、管轄海域における基盤情報の整備を目的として、平成25年度から自律型潜水調査機器(AUV; Autonomous Underwater Vehicle)を運用している。特に南西諸島弧及びその背弧海盆である沖縄トラフでは、これまでに複数の海域において精密な調査を実施し、溶岩流の痕跡や熱水の湧出などを含む火成活動の様子を明らかにしてきた [Minami and Ohara (2016), 南ほか 本発表会 (2017) など]。平成28年度には、久米島沖に位置する海底地形において新たに潜航調査を実施したので、その結果を報告する。

参考文献

Minami, H. and Ohara, Y., 2016. Detailed Morphology and bubble plumes of Daiichi-Amami Knoll in the central Ryukyu Arc, *Marine Geology*, 373, 55-63.